

暑さを機能的に解決する

今回は軽量鉄骨構造の住宅の2階部分のリノベーションです。お客様の悩みは2階が非常に暑いという事。春先から秋の終わりくらいまで、特に夏は。

築年数が古いので断熱性能も悪く、天井上に断熱材が載っているだけ。焼きついた屋根の熱が小屋裏空間を熱し、鉄骨がヒートブリッジになり小屋裏の熱を室内まで運できます。

こうなるとエアコンの効きも悪く、常に稼働状態になる為、電気代も相当な物になります。この状況を少しでも改善し、せめて夏場以外はエアコンに頼らない状況にならないか。

断熱性能を上げると問題は解決するかも知れませんが、構造的に容易な事では無く、費用もかなりかかる。

考えたのは空気の流れて室温を下げる事。小屋組の構造部が持つ熱を封じ、空気を流動させる形に作り変える。



暑い空気は天井付近に溜まりそこから人の頭位の高さまで溜まり続けます。これを解決する為にまずは天井の高さを変えました。

天井を屋根付近まで上げる事で暑い空気の溜まる層を上。そして溜まった熱を電動開閉式のトップライトで外に逃がす様にしました。

常に熱を放ち続ける構造部は断熱材と木材で覆い熱を封じ込めました。

こうした事で、熱は溜まりにくい環境になりました。

仕上がりも梁見せになった事で、さながら古民家の様な雰囲気になり、リノベーションで実現した機能美と言えるのではないのでしょうか。